

○道が実施する開発公共事業等に関する説明

事業名	オホーツク海地区水産環境整備事業		
事業内容	整理番号	整備対象漁場名	計画数量
	1	湧別漁場(魚礁)	127.13ha
	2	頓別漁場(囲い礁)	1,390.56ha
	3	猿払村漁場(囲い礁)	1,024.45ha
事業計画期間 (全体)	平成30年度～令和9年度	計画事業費 (全体)	1,723百万円
整備の趣旨	<p>当地区のほたてがいが漁業は、桁引き網漁業により漁獲しており、水深約70m以浅の砂礫帯において漁場を4分割し、1年ごとに稚貝の放流漁場(地蒔き)を変えて3年後に漁獲する4輪採制により、資源管理を実施しながら計画的な水揚げが行われている。</p> <p>しかしながら、近年の気候変動に伴い爆弾低気圧や台風が北海道周辺を通過し高波浪が頻発するなど、ホタテガイ漁場を取り巻く環境は変化しており、地蒔き漁場のホタテガイが高波浪等の影響による斃死が多発しているため、波浪の影響を受けにくい海域に漁場を創出し、生産性を向上させる必要がある。</p> <p>また、当海域では、オホーツク海域を始め日本海北部海域で漁獲されるマガレイ資源の天然育成場となっており、マガレイは日本海北部海域の宗谷地区のかれい類の4割を占め大変重要度が高い資源となっているものの、近年漁獲に減産傾向が見られているため、資源の回復・向上をめざした施設整備を進める必要がある。</p> <p>以上のとおり海域特性魚類に対応した漁場整備を行うことで、海域の生産力の向上を図る必要がある。本計画では、生産力の向上と力強い産地づくりに向けて、次の整備を実施する。</p> <p>(1) 水産物の安定供給体制の構築</p> <p>当地区の主要魚種であるホタテガイの生産性の向上を目指し、既存のホタテガイ漁場を波浪による減耗被害を受けにくい海域へ拡大整備するため、当該漁場に昭和43年から昭和60年までに設置した魚礁施設(魚礁ブロック)をマガレイ増殖場として再配置する。</p> <p>(2) 水産資源の保護・回復を図る漁場整備</p> <p>当海域は日本海から回遊するマガレイ資源の天然の育成場であることから、当該資源量の回復と増大を図るため、ほたてがいが漁業を含むほかの漁業の影響がなく、かつマガレイの生息に適した水深・底質箇所にマガレイ増殖場を再配置し、当該資源の幼稚仔育成を行う増殖場として整備する。</p>		

<p>事業採択基準</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 計画事業費が3億円以上 2. 漁港と漁場を一体的に整備する場合は次の要件 <ol style="list-style-type: none"> (1) 1漁港当たり事業費が3億円超 (2) 次のいずれかの要件 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1漁港の利用実隻数、又は登録隻数が50隻程度以上 ・ 1漁港の陸揚金額が1億円程度以上 (3) 漁場施設ごとの要件 <ul style="list-style-type: none"> 魚 礁：事業量5,000空m³以上 増殖場：事業費5千万円以上 養殖場：事業費1億円以上 3. 漁場を単独で整備する場合は次の要件 <ol style="list-style-type: none"> (1) 共同漁業権内の登録漁船数が100隻程度以上 (2) 2の(3)の要件を満たすもの
<p>道民意見と対応状況</p>	<p>道民意見は特になし</p>

水産環境整備事業基本計画書

1 地区名 オホーツク海地区

2 位置図等

都道府県名	北海道	所管名	北海道	関係市町村名	湧別町、浜頓別町、猿払村
地域指定	過疎、辺地、山村、特豪				
整備対象漁港名	—		整備対象漁場名 (関係漁港名)	湧別漁場、頓別漁場、猿払村漁場 (湧別漁港、登栄床漁港、芭露漁港、頓別漁港、斜内漁港、知来別漁港、浜鬼志別漁港、浜猿払漁港)	

位置図

